

通信

NO. 19
平成26年8月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-409-4177

残暑お見舞い 申し上げます



スタ コラ

木村政彦はなぜ 森本信明

三年前に出版された《木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか》を遅ればせながら読了しました。

胸が熱くなりました。感動しました。

今の気持ちを「感動」の一言で済ますのがもったいなくて、ここに書くことにします。

木村政彦という一人の格闘家（柔道家・レスラー）の生涯をまとめたノンフィクショ

ン。タイトルはミステリー仕立てですが、内容は伝記です。

とにかくむちゃくちゃに強い柔道家がいて、その師匠もこれまた強くて、常軌を逸したトレーニングを続け、さらに強くなって、プロレスラーになって、事件が起きて、世の中からその存在を忘れられて、決して幸福とは呼べない一生だった（かもしれない）男の物語です。

日本一が13年連続、15年間不敗のまま柔道界を引退、40歳を超えた指導者時代でも当時のオリンピック出場選手よりも強かったなどの逸話に驚かされるとともに、その愚直なまでに勝負にこだわる姿勢は、スーパーヒーロー物語として十分に楽しめます。

ミステリーではないのですが、衝撃の事実（というかその真相）や、最後の最後に語られる愕然とする真実、あとがきで知らされることなどもこの本が売れた原因なのでしょう。大河小説で味わうようなカタルシスも味わうことができます。

ですが読み終わった今、一番感じるのは、この著者（小説家・増田俊也）が持っている木村政彦への愛・尊敬・無念を晴らしたいという気持ちの真っ直ぐさのような気がします。

著者は代弁者でも弁護人で

この「通信」の封筒詰めと宛名シール貼りは、「障がい者の仕事をつくる」NPO法人ホーキーズの皆さんにお願いしています。一生懸命、丁寧な作業を心がけていますが、多少のずれやしわ、ゆがみなどはご容赦ください。

もなく、木村のファンと呼ぶのが近いのかもしれませんが。

直接には書かれていない著者の思い、本当はこうだったんだ、こんな人だったんだという悲痛なまでの叫びが、分厚い本のあちこちから聞こえてくるようでもあります。

趣味は読書、と言えなくなって何年も経ちます。

いわゆるビジネス本や技術書以外の本を読むことが、いつのまにか少なくなってしまったのですが、ベストセラーとなる本には面白い本があるのだなあ、なんて当たり前のことを思いました。



トンボの季節 がやってきた



トンボの姿を見かける季節となった。

シオカラトンボは、日本ではよく見かけるトンボだが、この「シオカラ」の由来については、諸説があり、「食べてみると塩辛い」という説もあるようだ。



映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

警察日記



監督：久松 静児
 出演：三島 雅夫
 森繁 久彌
 三國連太郎
 杉村 春子
 二木てるみ
 1955年 日活

日活は、三度の映画製作中断を乗り越え、2012年創立100周年を迎えた。

日活株式会社の社名は、1912年に横田商会、吉沢商店、福宝堂、エム・パーティー商会、4社が、合併して設立した日本活動写真株式会社の略称に由来する。

この「警察日記」は、農民文学の代表的作家として知られる伊藤永之介の小説を映画化した作品である。

田舎の小さな警察署で起こる様々な出来事をスケッチのように描いた人情ドラマである。

しかし、その背景には、娘の身売り、コソ泥、捨て子などの農村の厳しい現実が描

かれている。

当時、人気上昇中だった森繁久弥演じる人情味あふれる警官役は、同じ年の「夫婦善哉」とともに、絶賛された。

また、捨てられた6歳の女の子を演じた二木てるみの素朴な演技は、感涙ものであり、監督の演出力の証明である。



くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

福祉施設で研修

障がい者福祉を支える役職員の皆さんと考える機会



福岡県内の社会福祉施設Tの職員会議で、「職場活性化とコミュニケーション」についてのお話をする機会をいただきました。

この施設は、障害のある方の自立と社会経済活動への参加を促進するため、作業訓練及び生活指導を実践し、障害のある方の福祉の増進を図ることを目的とした施設で、開

所当時から『どんなに障害が重くても地域で暮らしていきたい』『一人の成人として働きながら社会生活を送りたい』という願いを受け止め、また、青年、成人期の障害のある人たちを中心として通う場、働く場を保障していく活動をすすめる中で、障害のある人たちの要求に合わせた活動をめざしていきます。」と一貫して取り組み、頑張っておられる姿が印象的でした。



編集後記



グループホーム S リーダー研修

8月は、事業所の研修が立て続けにありました。

暑い夏に汗を流しながら学びあい、終わった後の生ビールは最高でした。

いよいよ9月。気候も良い季節を迎えます。

また、上半期のまとめと下半期に向けた方針を見直す月。お互いに頑張りましょう。

Relationship & Partnership
B **ビジネス総研**
ビジネス総研株式会社
 福岡市博多区博多駅前4-33-11-702
 ☎092-409-4177 FAX092-409-4170
 Eメール kuma@b-souken.com
<http://www.b-souken.com>